

**高価** 金銭を表わした手を高くその価格の度合いでさし上げる。

**後悔** 「悔い」と同じ。

**合格** よい——適している（あてはまる）

**狡猾** 右手の手甲（五指の指頭を上斜か後方にさす）を左の頬にあてがひ、前後にこする。

**交換** 五指の指頭を右にさし掌を上に向け、た左手を前の方にし、五指の指頭を左にさし掌を上に向けた右手を胸もとにして、同時に左手を胸もとに引き寄せ右手を前にさし出す。自分のもの（胸もとの右手）と先方（左手）のものとも取り替えること。

**厚顔** 「あつかましい」と同じ手まね。

**工業** 指頭を前方にさした人差指と中指の両手を胸の前に平行にして、宛らピストンのように両手を同時に交互に上下に回転させる。「機械」「工場」ともなる。

**合計** 集める—計算

**攻撃** 五指の指頭を上にはさし掌を前に向けた両手を左右にならべて、同時に前に勢よく突き出す。前軍が前へ突進する。

**孝行** 親を表わした右手の側面を左手で撫でさするようにする。親を大切にすの意味。

**皇后** 左手掌の上に、女性を表わした右手を載せ、目の上の位置にさし上げる。

**広告** 「揭示」と同じ手の姿態をしてそれを左右に運動させる。

**交際** 左右両手の握手で表わす。

**工作** 鑿などの工具を握った姿態の左手の拳（たて）の上を、これもまた何にか植のような工具を握った風にした右の拳（たて）を二三度打ちつける。

**降参** (ハ) 両手を頭に持って行き、兜を脱ぐ身振りをする。(ニ) 五指の指頭を上にはさし掌を前に向けた両手をさし上げる。

講習 習い——憶える。

高尚 掌を下に五指の指頭を左にさした右手を鼻の下につけ（ちようど人差指の側面がつく）まっすぐに、それを右へ引く。

皇族 天皇——親族

校正 左掌の上に（印刷のゲラ）右手の人差指で、二三度位置を変えて短い線を引く。

（誤植を消す）

洪水 左手の五指の指頭前方にさし、右向けた左掌（堤防）に、五指の指頭前方にさし掌を上向けた右手（水面）をつけ、その水面を上へふくれ上るようにし、左手（堤防）を越さして外へ出す。

工場 「工業」と同じ手まね。

講堂 「講演」「演説」と同じ手まね。

強盗 両手で覆面をする身振りをして、右手の人差指（兇器）を突き出す。

コーヒ― 五指の指頭を前方にさし掌を右

側に向けた左手をまるく彎曲してコーヒの茶碗を形どり、右山人差指をスプーンとして、茶碗の中をかき廻わして、飲む身振り。

工夫（鋸夫） 鶴嘴を振り上げて、打ち降す身振り——男性

幸福 五指の指頭を上をさし掌を内側に向けた手の親指と人差指の間を開いて顎を下から挟み撫で降す。二度ばかり繰返す。

公平 指頭を前方にさした人差指（上に）と親指（下）の間をかなり開いて両手をびったり合わせてから、左右に両手を離して行く。人差指と親指が二本の平行線を描くわけである。「平均」「普通」の手まねともなる交替 「変わる」「変える」と同じ手まね。

皇太子 男性（中指）右手を左の掌にのせ、眼の上辺りにさし上げる。

皇太后 天皇——母

校長 学校——主